

令和6年度

地域と学校の連携・協働「絆」体制構築事業

門川町

【本年度重点的に取り組む課題】

- ・学校と地域の課題
- ・その他

【課題の詳細】

- ・門川湾に浮かぶ「乙島」は門川町の名所であり、シンボリックな存在で、町民なら誰もが知るところであるが、町内中学生のアンケートでは、その半数以上が実際には行ったことが無い状況である。
門川町地域学校協働本部では、ふるさと学習の一環として町の名所であり、シンボルでもある「乙島」に町内全ての小・中学生が一度は「乙島」へ行って、ふるさと愛を育む機会として欲しいという願いが出された。

【課題解決のために本事業で取り組むこと】

- ・町内小学校の4年生が「乙島」を訪問し、自然体験（トレッキングやシーカヤック体験など）や環境学習（漂流ゴミの観察など）、防災学習（乙島から見た門川町の地形学習）等に取り組む、ふるさと愛を育む機会とする。

【本事業で達成する目標】

- ・町内小学校の4年生全てが「乙島」を訪問し、ふるさと学習に取り組む。

【目標の達成度を測る指標】

- ・「乙島」で実施する、ふるさと学習への参加者数。

現状の数値（R5 末）	本年度の目標値	本年度の実績値（R6 末）
0	140	145

【目標に対する評価・分析】

- ・約80%の児童が「乙島」へ行ったことが無かった状況だったが、当該事業で当日の欠席者を除く町内小学校の4年生全てを「乙島」へ連れて行くことができ、自然体験等に取り組むことで、ふるさと愛を育む良い機会となった。
- ・町内3校の小学校ごとに実施したが、町観光協会や渡船業者、ボーイスカウト指導者等のボランティア、役場関係各課職員など、毎回30名近い人員で大きなケガ等のトラブルもなく実施できた他、地域の沢山の大人と交流することが出来た。